

The outline of 16th R&D symposium

第16回 JR東日本R&Dシンポジウム 「システム化の進展とヒューマンファクター」について

当社では、当社の研究開発の取組みを社内外にアピールするとともに、社外の著名な方々のご講演などを通して今後の研究開発の動向を見極め、当社グループにおける研究開発を推進することを目的として、R&Dシンポジウムを開催しています。テーマは、当社の研究開発戦略に関わるもので、その時々ビジョンに合ったものを選び設定しています。過去15回のシンポジウムでは、情報技術、コストダウン、顧客サービス、安全で正確な鉄道、環境、新幹線、産学連携、未来の鉄道、防災などをテーマとし、先端技術の紹介や情報の共有化を図ってきました。

今年20周年を迎えた弊社安全研究所では、ヒューマンファクターに関する取組みとして、ヒューマンエラー分析手法(4M4E分析)や各種の訓練ツールなど、人や組織のレベルアップをめざした研究開発を中心に行ってきました。一方で、安全性を向上させるためには、人とシステムとの良好な関係、つまり適切なヒューマン・マシン・インターフェースが重要と言われています。そこで16回目となる今回は、「システム化の進展とヒューマンファクター」をテーマとして、2009年11月16日に開催しました。プログラムは図1のとおりです。本誌では、このシンポジウムにおける講演についてご紹介いたします。

シンポジウム			
13:30~ 13:40	オープニングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長	清野 智
13:40~ 14:40	基調講演 「システム化・自動化の進展と 人間の役割」	筑波大学 大学院システム情報工学研究科 リスク工学専攻 教授	稲垣 敏之 氏
14:40~ 15:20	講演 「安全研究所のこれまでの取組みと 今後の課題」	東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 安全研究所長	楠神 健
15:20~ 15:40	休憩		
		パネリスト	
		筑波大学 大学院システム情報工学研究科 リスク工学専攻 教授	稲垣 敏之 氏
		自治医科大学 医学部 医療安全学(附属病院医療安全対策部兼任) メディカルシミュレーションセンター センター長 教授	河野 龍太郎 氏
		三菱航空機株式会社 整備設計部 電子装備グループ グループリーダー	森本 淳 氏
15:40~ 17:35	パネルディスカッション 「適切なヒューマン・マシン・ インターフェースをめざして ～人・システムに何を求めるか～」	トヨタ自動車株式会社 東京技術部 安全・新技術グループ長 担当部長	田中 宏明 氏
		東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 安全研究所長	楠神 健
		コーディネーター	
		東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 技術企画部長 兼 JR東日本研究開発センター所長	荒井 稔
17:35~ 17:40	クロージングスピーチ	東日本旅客鉄道株式会社 取締役副会長	石田 義雄

図1 第16回R&Dシンポジウム プログラム